

# 原発はいらない 17万人が参加

# 国 労 水 戸



国労水戸地方本部  
水戸市中央1-1-11  
ENYビル2F  
029-221-4008  
発行責任者 大和田亨  
編集責任者 坂本公則

梅雨明けを思わせる7月16日(月)、「原発はいらない!この声で、代々木公園を埋め尽くそう」10万人集会在内橋克人、大江健三郎、落合恵子、鎌田慧、坂本龍一、澤地久枝、瀬戸内寂聴、辻井喬、鶴見俊輔氏の呼びかけで開催されました。

呼びかけは、福島第一原発で発生した、世界最大級の過酷事故によって、日本の豊かな自然―田んぼや畑、森、林、川、そして雲も空も放射能によって汚染されました。原発周辺で生活していた多くのひとびとは、家も仕事も失い故郷を追われ、散り散りになっていつ帰れるかわからない状態です。日本に住む人々の8割以上が、「原発は嫌だ」と考えています。そして、いのちと健康を犠牲にする経済などありえません。人間のための経済なのですと参加した17万人に訴えました。

組織強化・拡大、労働条件改善の闘いに奮闘しよう!



集会会場となった代々木公園イベント広場・ケヤキ並木・サッカー場ではオープニングコンサートや脱原発・エネルギー関係のブースが設けられました。集会が終了し13時30分からはそれぞれのコースに別れパレード行進を行い、「原発はいらない」と訴えまえました。



地方本部は関東ブロック(群馬、茨城、栃木)に参加しパレード行進を行いました。横断幕を掲げ、「東海第二原発は廃炉にしよう」「子供たちの命と守ろう」「原発はいらない」と久保田支部書記長のかけ声で沿道の人達に呼びかけました。沿道の人達からは、手を振ったり頑張ると声をかけられました。

